

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2019年3月1日 186号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



ドロダ



スルビ

スルビ



パクー

パクー



ボガ



ドロダ

プエルト・レダを目指す釣り人たち

世界最大の湿原パンタナールを流れる大河、パラグアイ川。アマゾン川、パラナ川と並び、南米の河川水産資源の宝庫とされています。ここでは繁殖期の魚介類を保護するため、例年十一月一日から翌年二月末までを禁漁期と定めています。

今その禁漁期が明けました。釣り人たちが待ちに待った解禁日、レダ沿岸が釣り船で賑わう季節の始まりです。押し寄せる観光釣り船の客たちが狙うのは、第一に黄金のドロダ。同じくグルメ魚スルビ。何百キロメートルもの川路をものともせずに遡行して、レダ基地の目の前に錨を下ろし、小型のアルミボートに分乗した「釣りキチ」たちがわくわくしながら釣り糸を飛ばす。プエルト・レダ（レダ沿岸）は、アルト・パラグアイ（パラグアイ川上流域）屈指の好漁場なのです。

どうしてプエルト・レダが釣り人たちにとって、聖地メッカのようになったのでしょうか？ その大きな要因は、チャコ地域から流れ出る大きなリアチョ（支流・分流・入り江の意）がパラグアイ川本流と出合うポイントであること。このリアチョは、いわゆる「パンタナールの肥沃」に恵まれた、ウェットチャコ地域を氾濫原に持つ、生命のゆりかごなのです。日陽園八万ヘクタールは、知ってみると、食物連鎖の最底辺から養分を供給する「福地（Blessed Land）」だったのです。

さて、レダ基地の住人や客人にとって、釣り場に行くのにお金も時間もかかりません。歩いて五分以上に川岸に立つことができます。大河を見つめ、狙いを定める。釣り糸が大きな放物線を描く。食らいつく猛魚！ 魂を揺さぶる魚信！ あなたの生命と野生の生命が、一本の糸で結ばれる。ドロダが見せる闘志。スルビが見せる怪力。暴れるパクー。釣り糸の唸るボガ。あなたも、魚も、全力で野生を發揮するひと時！ 「川の虎」の異名を持つドロダは、見て美しく、釣って心躍り、食べて美味しい、憧れの魚。他方、あなたの兄弟たちが最も喜ぶのはスルビ。小骨がないので食べやすく、しかも美味。そして総合点で優るのがパクー。釣りやすく、調理しやすく、味付け次第でいくらでも美味しく食べられます。

「川の豚」とも呼ばれるパクーは、何でも食べて大きくなり、釣る人、育む人、食べる人を幸せにする、まさにパンタナール精神を体現した魚。今年は猪年。パクーに大いなる幸あれ！



レダ基地を発つ人々と見送る人々。1月15日



今レダ基地では

牧場基地として整備が進むプエルトカナン。1月13日



雨季に猛烈な勢いで伸びる草を刈る中田実所長。2月4日



養殖研究のために土壌を調査する奥迫孝顕さん。1月19日



円香さんが作ったパクソーセージ。1月19日



Good Go を修理する高橋賢作氏。2月1日



犬の世話をする豊村泰洋氏。1月27日



1haの水田に、タロイモ苗の植え付け完了。1月17日



ニームの森の草刈り作業。マスクで粉塵を防ぐ。1月17日

中田実所長 新年のメッセージ (要旨)

レダにいる兄弟姉妹を代表して
心から感謝申し上げます。



日本の会員の皆様、新年おめでとうございます。いつも私たちのために温かいご支援をいただき、レダにいる兄弟姉妹を代表して心から感謝申し上げます。

1999年に始まったレダ開発も、この8月に20周年を迎えます。8月1日には、関係各位を招いて、記念行事が行われます。

振り返ると、1999年、何も持たずに、また何も分からないまま始まりました。以来、小さな歩みではありましたが、天の導きにより、パラグアイの国家指導者や地域指導者たちも、私たちの活動を高く評価してくれる状況になりました。

1999年、文先生ご夫妻は、近い将来に、人類はどうにもならない困難に直面し、大転換の時を迎えると言われました。第二のエデンである南米のパンタナールにおいて、食糧問題、環境問題をはじめ、数々の難問題を解決するためのモデルを造ってほしいと、私たちに願いを託され、ずっと見守って来られました。今日までの様々な導きに、深く感謝しています。

世界各地からレダを訪れる若者たちも、文先生ご夫妻と心情的な出会いをここで果たし、新たな抱負を抱いて行かれます。

私たちは今、ようやく本来の入口に立ちました。大いに力の入れ甲斐のある時がやって来たと言えるでしょう。高齢になられた諸先輩の方々にあらわれては、現役生活の最終章に入られる頃かと思えます。共に、最後まで全力で闘い抜きましょう。若い人々には、レダの精神をしっかりと相続してくれることを願います。

もう一度皆様のご支援に感謝しながら、レダからの新年の挨拶といたします。ありがとうございました。

中野茂和関西総支部長の音頭取りによる万歳三唱をし、午後三時半、和やかに閉会しました。(小田記、写真「石川仁」)

次いで、提唱者文鮮明夫妻への感謝を込め、戸石文夫・泰子夫妻から花束を贈呈。記念メッセージとして、李成萬氏が豊富な映像を駆使して、レダプロジェクトを発足当初より深く愛して来られた韓鶴子総裁について、その人となりを率直かつ丁寧に紹介しました。

第二部、新年会の司会は大滝順治氏。小山田秀生氏の音頭取りによる乾杯に始まり、お弁当と歓談の



歌う竹ノ内美紀さん

続く祝歌は「パンタナール讃歌」竹ノ内美紀さんが情感豊かに歌い上げ、参加者たちをレダの美しく雄大な大自然と、先駆者の心情へと誘いました。

新年会2019

二十周年「新たな時代の始まり！」

二月二日午前十時半より、東京渋谷の会場で南北米福地開発協会の新年会が開催され、全国各地より、一七七名の会員が参加しました。

プログラムは二部構成。第一部は二年度の定例会集、第二部が新年会です。第一部の定例会集の司会は後藤誠一氏。まず柴沼邦彦理事がこの一月にアフリカで活動してきた多大な内容を、持ち時間内に凝縮して報告しました。ところが、もつと知りたいという聴衆の声を受け、より詳細な報告を後日行うことになりました。



楽しい時間になりました。昼食後、昨年他界された、小林重一氏と岩楯博美さんへの追慕と感謝の想いを胸に、全員で黙祷を捧げました。

次いで、レダ基地の中田実所長のビデオメッセージ上映。動画で送ってくれたのは中井重幸氏です。そしてレダ基地からの帰国報告。はじめにレダの最長老開拓者の一人である上山貞和氏が、レダ基地の各スタッフと日常生活をありのままに紹介。「皆さんもレダの素晴らしい空気を吸ってください」と熱く語りました。藤生輝彦氏はパラグアイで出会った日系青年をレダ基地に招いたことを感動的に報告。また「質の高い情報発信とその共有」「貧困層の教育」について、自分の実感に基いて提案しました。レダ産の食品開発を担当している小橋恵造氏は、レダ基地において中間年齢層(四十歳台)のスタッフが求められていることを訴えました。また、開発したレダブランド食品を普及させ、多く

の人々を元気で幸福にするという夢を、キング牧師に倣って「I have a dream」と高らかに語りました。



天花合唱団

は「希空(まれぞら)」と「無条件」の力みなぎるダンス。これらの出演者たちが会場を大いに盛り上げたことは、言うまでもありません。締めくくりは、中田欣宏理事長による今年度の活動方針の発表。レダ開拓20周年に当たり、八月一日レダで記念式典を開催し、十月一日を中心に東京で記念行事を実行すること。そして希望的に私たちの活動を注視するパラグアイ国の期待を裏切らないよう、着々と実績を積み上げて行くことなどを決意する内容です。中部総支部長の鈴木京市夫妻をはじめ、全国から駆け付けた七名の総支部長と、米国総支部長の奈田直宏氏も紹介されました。

次は、島田賢二青年局長による昨年一年間の当会の歩みを簡潔にまとめたプレゼンテーション。特に青年たちの活躍が印象的な二〇一八年でした。そしてエンターテインメント。渋谷の天花合唱団の少女たちが「喜び」「風車(かざぐるま)」を澄んだ歌声で歌うと、会場は静まり返って、清らかな芸術的雰囲気に変化。大きな拍手が起こりました。千葉の小倉治代さんは「時代」と「河内おとこ節」を和服姿で熱唱。渋谷家庭教会と孝成家庭教会の大学生会

第二十四回環境セミナーご案内



地球規模での豪雨や大風、地震や火山噴火、山火事等による災害が頻発しています。既存の科学による予想を超えた異常気象は、地球の生態系と人類の文明を崩壊させかねない猛烈な勢いとなっています。倫理的・道徳的な意識を持つて生きる人々が、地球規模の運動を巻き起こすことが大事となっています。

日時…三月三十日(土) 午後一時半から

会場…川崎市大山街道ふるさと館イベントホール



講師…山本良一先生、東京大学名誉教授、工学博士

テーマ…「最近の極端な気象」

主催…一般社団法人 南北米福地開発協会、環境問題研究委員会
会費…参加申し込み…三月二十五日までに、メール、ファックス等で、下記事務局まで。参加費は無料。

山本先生は、一九四八年茨城県水戸市生まれ。東京大学工学系研究科大学院博士課程修了。アジア生産性機構「緑の生産性諮問委員会」副会長、国際グリーン購入ネットワーク会長、日本エシカル推進協議会会長、消費者庁「倫理的消費」調査研究会座長等を歴任。主な著書に「地球を救うエコマテリアル革命」「1秒の世界」「世界を変えるお金の使い方」「気候変動+2℃」「温暖化地獄」「温暖化地獄Ver.2」「残された時間」「地球温暖化への三つの選択」「未来を拓くエシカル購入」「宇宙船地球号のグランドデザイン」「実践低炭素革命 持続可能な社会を創るために」他。

「環境崩壊とは、大気中に温室効果ガスを大量にばら撒いたり、枯渇性資源を使い捨てにすることなどで、いわばサブプライムローンのようなリスクの高いものを証券化したビジネスと同様である。」「北極海はいまや「地中海」と化し、北西航路、北東航路という大西洋から太平洋へと抜ける、従来より航路が二〇%短縮される新たな航海ルートが開けた。また、海水の激減は北極海底資源の開発に拍車をかけるとともに、周辺国の領有権をめぐる争いを劇化させてつづつある。」

(「温暖化地獄Ver.2」脱出のシナリオ」より引用)

第十九回一日特別研修会ご案内

本年最初のパンタナール一日特別研修会(ワンデイエセミナー)を、左記の要領で開催します。会場は、先回と同じセンター棟四階です。

日時…四月二十七日(土) 十時受付、五時終了予定

会場…国立オリンピックピック記念青少年総合センター、センター棟四階四〇三室(小田急線参宮橋駅徒歩七分、または渋谷駅西口40番乗場バス代々木五丁目下車)

参加費…二〇〇〇円(昼食を含む) 当日受付にて

参加を希望される方は、ファックスまたはメールで、下記の当法人事務局宛てお申し込みください。(応募用紙の請求も同事務局へ)

共催…一般社団法人 南北米福地開発協会、NPO法人 地球の緑を守る会

プログラム

- 「レバランド・ムーンの思想とレダ開発」講師…柴沼邦彦(当法人理事)
- 「レダと日本における植樹活動」講師…高津啓洋(II NPO法人地球の緑を守る会代表理事)
- 「レダ開発二十周年について」中田欣宏代表理事
- レダ基地から最近一時帰国をした、青年・壮年ボランティアによる、現地活動報告(予定)

パンタナールで電気ボランティアを!

レダ基地で、電気設備のメンテナンスをしてくれる方を探しています。高度な電子工学やITの知識は不要。三相電力の基礎的な知識があれば十分です。蛍光灯、壁スイッチ、コンセントの交換作業なども多くあります。当会の活動に理解があり、賛同される方、健康な方、できれば中・長期で行ける方、大自然の中でボランティア活動をしたい方など、ご自分の経験を活かしたい方など、意欲ある皆様のご応募を待っています。まずは、当会事務局にご連絡の上、ご相談ください。詳細を説明いたします。



当会事務局にご連絡の上、ご相談ください。詳細を説明いたします。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行(旧一般会員会費納入)

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: https://asd-nsa.com

Facebook: https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

会員種別

◆会員一口1000円/月

◆特別会員一口1万円/月

◆法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名: シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



ツマベニチョウ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局: office@asd-nsa.com へお願いします。